

鉄のふるさと 神話の里

－ 「播磨国志相郡 今の岩鍋という所に高天原から一柱の神天降り坐すあり」人々が驚いていると「吾は是れ作金者金屋子神なり」といって、人々が安全に暮せ作物がよく稔るようにと、盤石で鍋を作られたのでこの地を岩鍋という。それから白鷺にのって西方へ行かれて出雲の奥非田の森に着かれ、… －

この文章は、宍粟市教育委員会発行の『たたら^かの里ちくさ（鳥羽弘毅先生著）』によると、島根県能義郡（現安来市）広瀬町にある「金屋子神社」の祝詞に書かれているものだそうです。

私は、千種町で長年お世話になり、「たたら製鉄学習」を中学生と一緒に取り組んできました。天児屋鉄山跡やたたら^かの里学習館には何回か出向いたことがありますが、未だ、荒尾の金屋子神降臨の地や奥出雲には出向いたことがありませんでした。

まずは、降臨の地へ… 鳥居政義先生に案内していただき、荒尾鉄山跡に行きました。鉄山跡を散策したあと、金屋子神が降臨したといわれる『桂』の木を見ました。それから、内海に移動し、鉄穴（かんな）流し跡や金屋子神祠を見て回りました。当時の千種の人々の営みに少し触れることができたような気持ちになりました。後日、休日を利用し、教頭と二人で「奥出雲」に足を伸ばしました。和鋼博物館（リニューアル休館中）、金屋子神社、たたらと刀剣館、日刀保たたら…と巡り、たたら製鉄にかかる研修をしてきました。写真でしか見たことがなかったので、現地へ行って実物を見ることで、とても興奮し感動しました。

千種中学校では、当時の千種町教育委員会や保存会の皆様のご指導により、30年ほど前から「たたら製鉄学習」をしています。生徒たちは、夏休みを利用して砂鉄採集・鉄穴流しを行い、2学期にたたら^かの里学習館で実際に炉を組み、たたら製鉄実習を体験します。砂鉄と木炭を交互に炉に入れ、当日は6時間ほどかけて10kg程度の鋳（けら）を取り出します。千種が「鉄のふるさと 神話の里」であることを誇りに思える取組です。今年度も、地域の多くの方々のご指導を仰ぎながら、郷土の歴史と文化にふれる貴重な経験にしていきたいと思っています。

今学期もあとわずかになりました。保護者、地域の皆様には、子どもたちへの温かい見守り・励ましに、心から感謝を申し上げます。梅雨後半期・台風襲来期に入っていきますが、甚大な被害が出ないように祈るばかりです。また、この夏も酷暑となる見込みです。どうぞ、ご自愛ください。

令和8年7月2日

千種学園

宍粟市立千種中学校長 上山 昌秀